

## もうすぐ新入 学

### 二百四十二人が一年生に

この四月に新たに町内の小学校に入学する児童は二百四十二人です。小幡小学校八十四人、秋葉小学校(分校を含む)二十七人、稲屋小学校七十一人、新屋小学校五十九人がその内訳です。

新入児童のいろいろと実態では、健康のことなどはじめ、うまく集団生活を送れるだろうか、友だちとはできるだろうか、交通事故にあわないだろうか、考えば考えばほど心配のすまはずな気がします。が、お母さんのやさしい心づかいで、早く学校に、集団生活になれさせてあげてください。

## 約束や規則を守る子に

学校には集団生活のきまりがあります。家庭では許される気持や甘えも、これからは通用しません。みんなが決めた約束やルールを守ることは、社会生活をしてゆくうえでの第一の基本です。学校は、子どもにとって教師に接触する社会であり、ひとりの「町民」としてのスタートの場でもあるのです。

服装や洗髪、食卓のあとかたづけ、衣服の脱ぎ着などの身のまわりのことは自分でできるようにしつけ、集団生活の規則やエチケットをわきまえることが大切です。また、対人関係のエチケットと

ば内容的に無理がなかったかどうか、強制しすぎて子どもへの心傷にき文をつけるようなことはなかったか——などの点をよく考えてから、適切な指導をするのが効果的です。

### 早く学校に

#### なじめるよう

子どもは、いままでの遊び中心の生活とは全くちがった環境に身を置くのですから、集団生活に一日でも早くなじめるように指導し誘導してやってください。

どうすれば学校生活に慣れるのを助けるかという点、お母さんと話して、まず子どもが心算的に慣れていないかどうかを見分けることが先決です。学校に行くのをいやがっても、小学生になったのだから、「いっしょ」などと一方的にさせるのは、いかに一方通行のもので、一年生になつた喜びをもって、楽しく通学できるよう温かい心づかいがほしいものです。

### 異動の届け出を

住所を異動したときは、転入転出、転居の届けを必ずして

### し尿くみとり

## 四月一日から一業者に

町の上流のくみ取り業者は新生が小幡・秋葉地区、西米生社が稲屋・新屋地区をそれぞれ区域としてくみ取っていました。しかし、原因が深刻な衛生管理センターが立ち上がり、衛生増強にもう一步とりましたが、そこで、くみ取り業務の管理運営の進歩をはかるため、町全体のくみ取りを四月一日から新生社一業者にゆつするにこなりました。したがって、稲屋・新屋地区も新生社がくみ取ることになります。

稲屋・新屋地区は、新しい業者になるため、町でも十分指導はいたしますが、地理不案内のためあるいは一時、スミースス欠く場合があるかもしれませぬ。事情をご理解のうえ、よろしくご指導とご協力をお願いします。

また、くみ取りの申込みをする場合は、名前や場所等を正しく記入してください。

女性、甘藷町の屋敷とみ取る収集車は、甘藷町表示であり、色はオレンジ色を付した黄色です。これ以外の収集車のくみとりはしません。

新生社(電話 0786-2-0250)



(車体は黄色)

料金については、従前どおりで一般家庭等の場合は一人月百五十円(秋葉地区は百六十円)、事業所その他特定多数の使用するものについては従量制です。